

平成23年度
琴浦町教育委員会行政評価項目一覧

琴浦町教育委員会行政評価項目一覧

(1) 平成23年度教育委員会事務局の主な取組み

主な取組みや評価の指標など		現況(前年)	目標	到達度	成果
1	地域ぐるみによる学校支援体制を構築し、地域や家庭の教育力の向上を図る。 ○ とっとり学力向上支援プロジェクト事業の推進	県教委の新規事業を活用し、課題の共有を図っている	社会全体で取り組む教育を推進する		
2	小学校統合プランに向けた取組みの推進 ○ 住民説明会の開催	小学校統合プランの策定	町民との合意形成を図る		
3	子ども読書活動の推進を図る。 ○ 子ども読書活動に関する基本計画及び推進計画の推進	H22策定済み	基本計画の推進		
4	町あらゆる差別をなくする実施計画(後期分)の推進 ○ 町あらゆる差別をなくする審議会等での全施策の実施状況の点検と次年度への反映	実施状況を点検	実施状況点検の継続及び点検結果の次年度への反映		
5	地産・地消の推進と食育の充実を図る。 ○ 地域食材使用率の向上	65%(H22)	70%以上		

(2) 教育委員会の活動状況

主な取組みや評価の指標など		現況	目標	到達度	成果
1	教育行政の使命に関する委員研修の充実 ○ 諸研修への積極的な参加	4回(H22)	対前年数増		
2	学校・地域現場の実情や課題の的確な把握 ・ 計画訪問(年2回×11校園) ・ 教育懇談会(11回) ・ 学校行事(入学式、卒業式、運動会、学習発表会) ・ 地域行事(地区公民館、文化センター) ・ 保育園訪問	40回(H22)	対前年数増		
3	教育委員会評価の実施 ○ 年度事業の重点化を図り指標を定めて到達度と成果を評価する	重点化を図り実施(H22)	継続実施		

(3) 琴浦教育基本目標に基づく評価項目

A 「ともに学びあい、高めあうまちづくり」

重点事項(主な取組みや評価の指標など)		現況(前年)	目標	到達度	成果
1	生涯にわたる発達段階に応じた社会教育の推進 ○ 重点目標記載の各種事業の全町民比参加率	18.4%	対前年比増		
	○ 10秒の愛キャンペーン認知度の向上	83%	対前年比増		

2	地域づくりと生涯学習推進を目指した地区公民館活動の充実 ○ 公民館活動の企画・運営力向上のため各種講習・研修等への計画的参加（社会教育主事講習・県内各種研修）	前年度社会教育主事講習受講者6名（うち既取得1名）	計画的な講習・研修の受講		
3	自立した学習を支援する図書館活動の充実(全体) ○ 個人年間貸出冊数（人口1人当たり）	貸出冊数 6.8冊	対前年比増		
4	豊かな情操を育む地域文化の振興と文化財の保護 ○ カウベルホールのホール年間利用者数	14,866人	町全人口比 50%以上		
	○ 町公共施設での発表会出演者数、展示会の出展者数	769人	対前年比増		
	○ 県指定保護文化財河本家住宅の来館者数	1,502人/年	対前年比増		
5	心身の健康増進を図るスポーツ・レクリエーションの振興 ○ スポーツ・レクリエーションの振興（スポーツ大会開催、レクリエーション・スポーツ教室開催、体力づくり教室開催）	各種大会・教室を開催	継続的に開催		
6	男女共同参画社会の形成の推進 ○ 男女共同参画プラン実施計画に基づいた事業進捗	実施率約70%（平成23年1月末時点）	実施計画中平成23年度予定全事業実施		

B 「ふるさとを愛し、未来を拓くたくましい琴浦っ子の育成」

重点事項(主な取組みや評価の指標など)	現況(前年)	目標	到達度	成果
1 地域に根ざした教育活動の推進 ○ 地域の教育資源を活用した体験活動や教育活動の推進と、その教材化を図る	各校が特色ある教育活動を展開中	地区公民館との連携強化により幼小中で実施		
2 豊かな心を育む教育活動の充実 ○ 芸術鑑賞の機会の提供（開催学校数）	6校(H22)	前年維持(芸術団体の状況による)		
3 一人一人の確かな学力の向上 ○ 児童生徒の学力状況の把握や課題の明確化に努め、学力向上対策を進める	全国学力学習状況調査、諸検査を実施	調査結果から課題や傾向を把握し適切な対応を図る		
4 学びと育ちの一貫性を重視した教育の推進 ○ モジュール学習の導入と展開	幼稚園、小学校で実施	すべての幼稚園、小中学校での実施をめざす		
5 開かれた学校づくりによる学校運営の改善 ○ 一斉公開の実施(年2回)による評価アンケート6項目について「Aよくあてはまる」の平均値の向上	60.2%(H22)	60.0%以上		
	○ 学校評価の実施状況 ※自己評価と学校関係者評価の実施	町実施要領により取り組み中である(2年次)	評価を生かした学校運営を推進する	
6 今日的な教育課題の解決 ○ いじめ、不登校、問題行動への対応 ・ 不登校児童生徒数の減	H22年度 5人 小学校0人 中学校5人	H22年度 5人未滿(小中合計)		

(3) C 誰もが安心して暮らせる人権を尊重するまちづくり

重点事項(主な取組みや評価の指標など)		現況(前年)	目標	到達度	成果
1	人権・同和教育の総合的、計画的な推進と推進体制の整備、充実 ○ 人権・同和教育部落懇談会(小地域懇談会)事前研修会への参加による推進者の資質向上	442人(H22)	前年度比5%増(464人以上)		
2	地域社会における啓発並びに学習機会の提供 ○ 差別をなくする町民のつどいの参加者アンケートにおける満足度の維持	82.8%(H22)	常時80%以上		
3	就学前・学校教育における人権・同和教育の推進 ○ 各校全体計画、年間指導計画の基礎となる「育てたい資質・能力」の中の町内共通目標の設定有無	町人権教育主任会として6分野中5分野の町共通項目を設定。	「育てたい資質・能力(目標)」の町共通項目の設定		
4	琴浦町の人権啓発、福祉の向上、住民交流の拠点としての文化センター事業の充実 ○ あかさき部落解放文化祭への来館者数の増加(赤碕文化センター)	1,098人(H22)	前年度比5%増1,152人以上		
	○ 同和問題懇談会の参加者数の増加(東伯文化センター)	388人(H22)	前年度比5%増407人以上		

① 「到達度」欄には、目標及び過程の到達度について、次の評価基準で評価する。

- 「◎」順調 ……設定された目標に到達した
- 「○」概ね順調 ……設定された目標に到達したが若干の課題がある
- 「△」やや順調でない ……課題が少なからずあり、設定された目標への到達がやや順調でなかった。または、目標に到達したが新たな課題が生じた
- 「×」順調でない ……課題が多く着手できなかった

② 「成果」欄には、取組みにより得られた成果について、次の評価基準で評価する。

- 「A」……当初の目的・目標を達成した
- 「B」……当初の目的・目標に向けて相当の進展があった
- 「C」……当初の目的・目標に向けて一部の進展に止まった
- 「D」……当初の目的・目標に向けて進展がなかった

※ 「目的」は、評価構想図の各重点事項を示している。